

高等学校外国語（英語） 英語コミュニケーションⅠ 学習指導案

学校名 ○○高等学校
 指導者 ○○ ○○
 実施日時 令和5年○○月○日（月） ○時限
 実施学級 1年○組○○名（男○○名 女○○名）
 実施場所 1年○組教室

1. 単元名 Unit1 Differences in Communication (○○書籍)

2. 単元目標 異文化コミュニケーションについて、聞いたり読んだりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに、相手に伝わるように話したり書いたりすることができる。

3. 単元指導計画 (本時6/7)

- 1 時間目 Unit 1 (新出語彙・リスニング・音読)
- 2 時間目 Unit 1 (音読・サマリー・意見交換)
- 3 時間目 Unit 2 (新出語彙・リスニング・音読)
- 4 時間目 Unit 2 (音読・サマリー・意見交換)
- 5 時間目 Unit 3 (新出語彙・リスニング・音読)
- 6 時間目 Unit 3 (音読・サマリー・意見交換)
- 7 時間目 単元の振り返り、エッセイライティング

4. 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
<知識> 現在完了形と過去形を用いた文の形・意味・用法を理解している。 <技能> 異文化コミュニケーションについて、現在完了形と過去形を用いて効果的に伝える技能を身につけている。	異文化コミュニケーションについて、読んだり聞いたりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに相手に伝えたり、書いたりしている。	異文化コミュニケーションについて、読んだり聞いたりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに相手に伝えるように話したり、書こうとしている。

5. 本時の目標

異文化コミュニケーションにおける個人差について、読んだり聞いたりしたことを活用しながら、情報や自分の考えを理由や根拠とともに相手に伝わるように話している。

6. 本時の展開

	学習の活動	教師の指導と留意点	評価観点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ●新出語彙の復習（7分） ・モニターに投影されるフレッシュカードを見てリピートする。 ・ペアに単語の意味を説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・間違いやすい発音とアクセントに留意する。 ・ペアの片方が教室後ろを向き、もう片方がモニターの単語を説明し、相手に当てさせるよう指示する。 	<p>【主体的に取り組む態度】相手に伝わるように話そうとしている（観察）</p>
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●音読（8分） ・ペアで速読する ・ペアでシャドーイングする ●サマリー（15分） ・トピックセンテンスを抜き出す ・キーワードを抜き出す ・2～3文程度にまとめる ●意見交換活動（15分） ・自分のコミュニケーションスタイルに近いものを教科書 p. 16 から選ばせる ・理由として考えられるエピソードを書き出させる ・コミュニケーションスタイルの違いについて、ペアで意見交換する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発音やイントネーションのポイントを指導する ・トピックセンテンスや良いキーワードの見つけ方について確認させる ・具体的なエピソードを添え、根拠を持たせるよう指導する 	<p>【思考力・判断力・表現力】自分の考えを理由や根拠とともに相手に伝えている（観察）</p>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ●振り返り（5分） ・振り返りシートへ記入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・改善に向けて、具体的にどのような取り組みをするのか書かせる 	